

ハイブリッドカラー球根の安定生産技術

福島県農業試験場 いわき支場・農芸化学部
平成12～14年度福島県農業試験場試験成績概要
分類コード 05-06-18000000

部門名 花き一カラー一作型・栽培型
担当者 諏訪理恵子・矢吹隆夫・中村孝志

I 新技術の解説

1 要旨

ハイブリッドカラーの栽培においては、切り花終了後の球根を翌年の栽培に再利用しているが、栽培中の球根の生育が不十分であるため再利用できる割合が低い。そこで、球根の生育に適した栽培管理方法を明らかにした。

- (1) 生育盛期となる夏期の地温を25℃以下に抑制して栽培することにより、球根の生育は良好となり肥大率が高まる。
- (2) 稲わらマルチを用いることにより、生育に適した地温を保つことが可能である。
- (3) 栽培土壌の石灰含量を多く(石灰飽和度50%以上)、土壌酸度をpH6.5程度に保つことにより球根の生育が良好となる。
- (4) 生育後期の土壌水分が多いと(pF1.8以下)球根の腐敗症状が発生しやすい。

2 期待される効果

翌年の切り花生産に再利用可能な球根の割合が高まるため、球根更新のための導入コスト低減が期待される。

3 適用範囲

県内全域

4 普及上の留意点

- (1) 球根腐敗の発生を防止するためには、別途防除対策が必要となる。
- (2) 品種は「ブラックマジック」を用いた。

II 具体的データ等

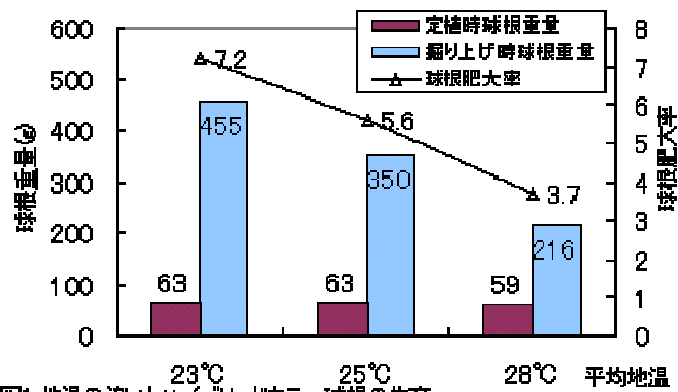


図1 地温の違いとハイブリッドカラー球根の生育

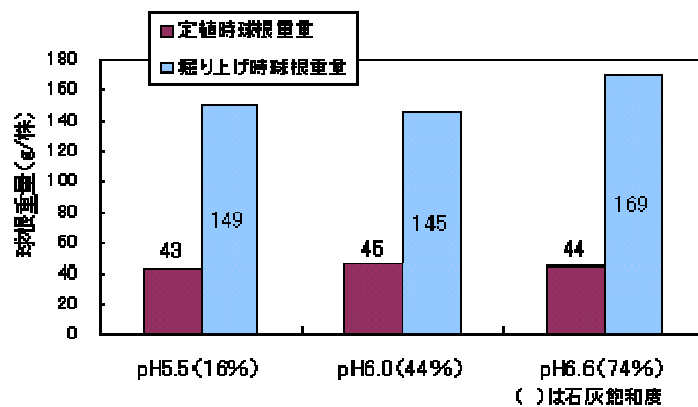


図2 土壌酸度(石灰飽和度)とハイブリッドカラー球根の生育

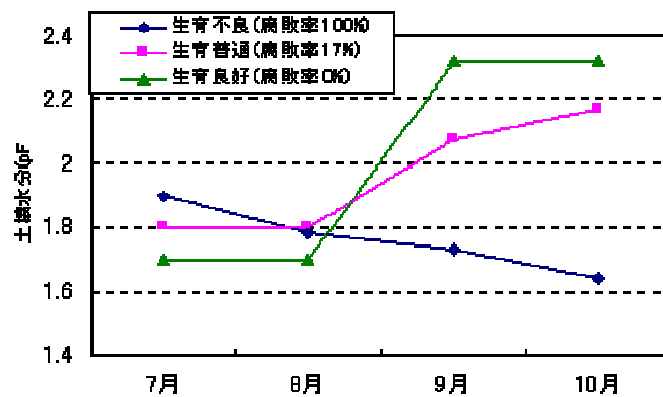


図3 ハイブリッドカラーの腐敗程度の異なるほ場における土壌水分

Ⅲ その他

1 執筆者

諏訪理恵子・矢吹隆夫・中村孝志・草野秀一

2 主な参考文献・資料

なし